

# 鴨志田第一小学校 学校だより

## キャッチボール

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamoshida1/>

令和4年6月30日発行7月号

### 素敵な本との出会い

校長 喜々津 好宏

本格的な夏の訪れを感じられる頃となりました。6月15日には、5か月ぶりに図書ボランティアの皆様による読み聞かせを行っていただきました。本当にありがたいことです。

素敵な本との出会いは、その後の生き方に大きな影響を与えることがあります。私も小学校4年生の時に会った「十五少年漂流記」が今でも心に残っています。長きにわたり世界中で愛読されているジュール・ベルヌ作のこの作品は、休暇で6週間の船旅をしようとする15人の少年が、船の綱が外れたことで無人島に流されて2年間も生き抜く物語です。この冒険小説の中で、15人の少年が力を合わせて知恵と勇気で、様々な困難を乗り越えていく姿に心惹かれていきました。

学生時代に出会ったのは、若くして事故でこの世を去った天才レーシングドライバー浮谷東次郎（うきやとうじろう）の日記を綴った「がむしゃら1500キロ」という本です。その中に、15歳の時（昭和32年）に千葉の市川から大阪までの往復1,500キロを50CCバイクでロングツーリングする話がありました。現在では、大阪への往復はたいしたことにはなりませんが、当時は高速道路もなく国道1号線も砂利道が所々にあり、バイクの信頼性もない状況での決行はかなりの冒険であることが伺えます。単なる旅行記ではなく、様々な人との出会いや多くの困難を目の当たりにして、人間について、労働について、生活について、15歳の少年が考え抜く姿が鮮やかに表現されていました。

結局、その本に影響され20歳になった私は東次郎のまねをして、原付の免許を取り、18年落ちの中古のスーパーカブ(50CCバイク)を9千円で買って、山口から神奈川の実家に向けたツーリングに出してしまいました。一步踏み出すと後戻りする事ができない恐怖心はありましたが、いざ出発すると時速30キロで「がむしゃら」に進むしかないことがよくわかりました。道中ではいろいろな人と出会うことができました。同じように50CCのバイクで全国を回っている方、学校の先生、仕事を探して全国を旅する方などと夜遅くまで語り明かしたことを覚えています。また、古いバイクなので、故障したり、箱根の峠を登らなかつたりで、結局実家への到着は1か月を要してしまいました。この旅行は、過保護気味に育てられた自分の殻を破る一つの契機ともなりました。この体験を通して、見ず知らずの人と話すことに物怖じしなくなったことや、また、困難にあっても慌てることが少なくなったと思います。

これから夏休みを迎えます。子どもたち一人ひとりが、素敵な本と出会うことができるように、これからも読書環境の整備に力を入れてまいりますので、ご協力をお願い申し上げます。

## あいさつを広げよう！！

6月からあいさつ運動がスタートしました。計画委員会が中心となり、たてわり班ごとに担当を決めてあいさつ運動を行っています。大きな声ではなくても、明るい声で、目と目を合わせて、自分から進んでといったことを意識しています。あいさつを通して、全校みんなが自然と笑顔でつながっていけるよう取り組んでいます。



## 読み聞かせ

今回は10月12日

6月15日に、今年度最初の読み聞かせがありました。水曜日の朝学習の時間帯(8時25分～8時40分)に、地域や保護者の方々から読み聞かせをしていただきます。



## 重点授業研究会

今年度も「進んで考えを伝え合う子の育成」をテーマに、算数の授業を通して、主体的に学習に取り組み、問題を解決する力を伸ばすための校内研究をしています。一人で考える自力解決の時間、子ども同士で話し合っ問題解決をしていく共同思考の時間を充実できるよう、各自のタブレットも活用しています。子どもたちが主体的に学べる授業づくりに今後も取り組んでいきたいと思ひます。



## 1年生

### かもいち たんけんたい！！

2年生と学校探検をしてから、もう2か月。もっと知りたいことや場所を選び、小グループを作って探検しました。校長先生にいただいた学校探検の目印となるバッジをしっかりと胸につけ、グループの旗を持って出発。子どもたちだけで移動する時間もあって、友達と協力して、楽しく探検することができました。



## 各学年の様子

## 2年生

### 横浜 DeNA ベイスターズ出前授業

6月8日(水)に横浜 DeNA ベイスターズのコーチの方々から、野球を通してボールの投げ方や打ち方を楽しく丁寧に教えていただきました。子どもたちは、「遠くにとんで楽しいな。」「的を狙って投げたよ。」「またやりたいな。」と活動を振り返っていました。





### 鴨一美術館 絶賛準備中

3年生になって初めて自分だけの絵の具セットを手に入れた小さな画伯たちが、色とりどりのチューブを手に取り、ひたすら筆を走らせています。「この色とこの色を混ぜて・・・」

「きれい！水で薄めると、また色が変わるよ。」まるで実験ラボのようです。思い思いの想いを乗せて、自分の中で一番の作品が間もなく壁に並びます。どうぞ、お楽しみに！

3年生



5年生

4年生

6年生

### 御殿場宿泊体験学習

6月8日（水）・9日（木）に御殿場宿泊体験学習が行われました。学年全員で準備を行い、とても楽しみにしていました。当日は現地のガイドさんとコースを相談しながら、氷穴・こうもり穴の見学や青木ヶ原樹海のトレッキングを行いました。とても興味深そうに話を聞いたり、見学したりしていました。青少年交流の家でも、友達と協力して楽しみながら、一つ一つの活動を行いました。振り返りを行い、この体験をこれからの学校生活に生かしていきます。



### 資源循環局 青葉事務所 出前授業

6月7日（火）に資源循環局青葉事務所の方にご来校いただき、出前授業を聞きました。収集車に袋を入れる体験をしたり、間違いやすい分別の仕方について聞いたりしました。

資源物を燃やすごみに混ぜないようにして、ごみの量を減らそうと考えることができました。



### SDGs 17の目標

「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」は「国際平和のために、自分がやりたいこと」をテーマにメッセージを伝える大会です。6年生全員が、SDGsに基づく17の目標から自分の関心のある視点について調べ、経験を交えながら自分の考えをスピーチ原稿にまとめました。6月23日には、鉄小學校で青葉区の審査会が行われ、6年生の児童が代表として参加しました。代表児童のスピーチの題名は「私たちの未来を平和な世界に」です。自分の野球チームでの経験をもとに「パートナーシップ」の大切さを訴えました。会場への問いかけもあり、素晴らしいスピーチでした。

